

### 3. スポーツ・レクリエーションの振興

#### (1) スポーツ・レクリエーション

##### ◆目指す姿

子どもから高齢者まで、日常的にスポーツ・レクリエーションに親しみ、心身ともにいきいきと、こころ豊かで、健康的な生活を送っています。

##### ◆施策の基本方針

- ①地域に根ざした生涯スポーツ推進のため、スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進に努めます。
- ②各種競技団体、地区団体との連携を図るとともに、指導者の養成・活用を行い、競技力の向上に努めます。
- ③スポーツ施設の整備、充実と効率的活用の促進に努めます。

##### ◆施策の体系

##### ①生涯スポーツの推進

主要事業名	市民体育祭					
概要 (PLAN)	昭和31年に第1回大会を開催して以来継続して実施している。子どもから高齢者まで市民が気軽に参加できる大会として現在では約1万人が参加する本市スポーツの最大のイベントとなっている。 また、近年は市民ニーズを反映した新種目を導入して実施している。					
取り組み内容 と成果 (DO)	市民体育祭実行委員会を組織し、大会運営にあたることにより、充実した開催内容となるよう努めた。 大会は、38競技種目11,065人の参加により実施し、平成27年度からパークゴルフ、木球、ソフトバレーの3種目をオープン競技から地区対抗の部へ変更するなど競技の活性化を図っている。					
達成度	指標名	市民体育祭参加者数				
	目標値(目標)	13,000人				
	実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		11,499人	11,065人			
決算額	4,715千円	4,732千円				
評価 (CHECK)	評価の視点		判断の基準		判断した理由	
	必要性	施策体系との整合性	■A: 整合・貢献している □B: 改善・見直しの余地がある		子どもから高齢者まで市民が気軽に参加できる大会であり、生涯スポーツの推進へとつながることから、市で実施する必要性が高い。	
		市の関与の必要性	■A: 妥当・義務的な事業 □B: 改善・見直しの余地がある			
		緊急性	■A: 緊急性が高い/優先して実施する必要がある □B: 現時点では必ずしも実施しなくてよい			
	効率性	費用対効果	■A: 費用に見合う成果がある □B: 改善・見直しの余地がある		実行委員会において、市民ニーズを反映した競技種目について検討・選定しながら大会を開催し、各種競技団体と連携し協力を得ながら実施することで、効率的な大会運営が図られている。	
		受益者負担	■A: 妥当である □: 受益者負担なし □B: 改善・見直しの余地がある			
		対象の妥当性	■A: 妥当である □B: 改善・見直しの余地がある			
有効性	社会環境の変化	■A: 社会環境の変化に適応している □B: 改善・見直しの余地がある		市民ニーズが多様化してきている中、市民が気軽に参加し、スポーツに親しむ機会を提供することができ、市民の健康増進、体力向上が図られている。		
	類似事業との関係	■A: 類似事業はない/あるが統合・連携はできない □B: 類似の事業があり統合・連携できる				
	廃止・休止の影響	■A: 影響がある □B: 影響がない				
前年度評価を受けて29年度に取り組んだ事項	実行委員会において、市民ニーズを反映した競技種目について検討・選定しながら大会を開催した。 また、地域の体育団体や各種競技団体と連携し、町内会等の協力を得ながら参加への呼びかけを積極的に行った。					
課題・問題点	市民体育祭を開催し、参加者の健やかな心身の鍛錬と健康増進を図っているが、参加者の範囲が固定化し年齢も高齢化の傾向にある。 そのため、市民のだれもが気軽にスポーツに親しむことができるように市民のニーズに対応した新種目の導入が必要である。				評価検証委員会の評価	
					■ 課題・問題点が妥当である □ 課題・問題点が妥当でない	

課題・問題点 に対する 改善策 (ACTION)	今後も、市民ニーズを反映した新種目を導入するとともに、市民がより気軽に参加できるよう、地域の体育団体や各種競技団体と協議・検討して大会の参加をPRしていく。					評価検証委員会の評価	
						<input checked="" type="checkbox"/> 改善策が妥当である <input type="checkbox"/> 改善策が妥当でない	
事業の方向性	評価検証委員会の評価	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終 了	
	評価検証委員会の判断理由	市民のために市民でつくりあげてきた体育祭の実施は、スポーツに親しむ機会として貴重であり「継続」とする。					
	評価検証委員の意見・助言	<p>①課題・問題点にある新種目の導入について、オリンピック・パラリンピックの動向も参考にしながら、特に若い層の声も尊重しながら検討を進めていただきたい。</p> <p>②本市で行われるオリンピック競技のプレ関連事業と連携するなど幅広い企画で構成することも考えられる。事情が許せば近隣市町村との共同企画も可能性を探りたい。スポーツを楽しむ市民の意識高揚、運営ボランティアの掘り起こしにもつながると思われる。</p> <p>③継続していくにあたり参加者の固定化と高齢化について考慮しつつ、時代に応える新種目の取り組みなど大切にしたい。</p> <p>④2020年に向け聖火リレー等様々な企画が期待され、市民体育祭参加者の中から少しでも参加できるような計画があっても良い。</p> <p>⑤実行委員会においても若い世代の意見を取り入れてほしい。</p>					
	教育委員会の評価	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終 了	
	教育委員会の判断理由	子どもから高齢者まで市民が気軽に参加できる大会であり、市民の健康増進、体力向上が図られるほか、本市の生涯スポーツの推進に必要な事業であり、今後も継続していく。					
評価検証委員の意見・助言に対する教育委員会の検討結果	<p>①②④実行委員会において、オリンピック・パラリンピック新種目を視野に市民ニーズを反映した種目について検討・選定しながら大会を開催するとともにオリンピック関連部署と連携し、オリンピックの開催に向けて、市民の機運の醸成の取り組みを進める。</p> <p>③⑤地域の体育団体や各種競技団体と連携し、町内会等の協力を得ながら参加への呼びかけを積極的に行うとともに市民ニーズを反映した新種目について検討していく。</p>						

◆施策の体系

②競技力の向上

主要事業名	指導者講習会事業					
概要 (PLAN)	市体育協会に加盟している競技団体の活動を積極的に支援し緊密な連携を図りながら、指導者講習会の開催、国内トップレベルの講習会への派遣を行う。					
取り組み内容 と成果 (DO)	指導者講習会を10種目〔28年度：10種目〕で304人〔28年度：238人〕の受講、講習会への派遣事業を7種目で44人〔28年度：41人〕の派遣を実施した。選手の育成・競技力強化のため、各競技団体の指導者が、トップレベルの指導方法を学ぶことで、指導者の技術と資質向上を図っており、競技スポーツ全体の活性化と競技力向上につながっている。					
達成度	指標名	講習会参加者数				
	目標値(目標)	600人				
	実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		16種目 279人	17種目 348人			
決算額	973千円	915千円				
評価 (CHECK)	評価の視点		判断の基準		判断した理由	
	必要性	施策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 整合・貢献している <input type="checkbox"/> B: 改善・見直しの余地がある		競技力の向上や選手育成を推進する上で、レベルの高い指導方法を学ぶ講習会の実施は必要不可欠である。	
		市の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 妥当・義務的な事業 <input type="checkbox"/> B: 改善・見直しの余地がある			
		緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 緊急性が高い／優先して実施する必要がある <input type="checkbox"/> B: 現時点では必ずしも実施しなくてよい			
	効率性	費用対効果	<input checked="" type="checkbox"/> A: 費用に見合う成果がある <input type="checkbox"/> B: 改善・見直しの余地がある		レベルの高い講習を受けた指導者が、地域や所属競技団体に持ち帰り指導を実践することで、新たな指導者の育成と資質向上が図られている。	
		受益者負担	<input checked="" type="checkbox"/> A: 妥当である <input type="checkbox"/> : 受益者負担なし <input type="checkbox"/> B: 改善・見直しの余地がある			
		対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 妥当である <input type="checkbox"/> B: 改善・見直しの余地がある			
	有効性	社会環境の変化	<input checked="" type="checkbox"/> A: 社会環境の変化に適応している <input type="checkbox"/> B: 改善・見直しの余地がある		各種競技・各年代に合わせた競技技術やトレーニング方法が求められている中、競技団体と連携・協議しながら指導者講習会を実施しており、選手の育成・競技力向上につながっている。	
		類似事業との関係	<input checked="" type="checkbox"/> A: 類似事業はない／あるが統合・連携はできない <input type="checkbox"/> B: 類似の事業があり統合・連携できる			
廃止・休止の影響		<input checked="" type="checkbox"/> A: 影響がある <input type="checkbox"/> B: 影響がない				
前年度評価を受けて29年度に取り組んだ事項	各競技団体や福島県体育協会などと連携し、各種競技・各年代に合わせた競技技術やトレーニング方法の指導など専門的な知識と指導力を持つ指導者の育成・確保に努めた。					
課題・問題点	競技力の向上には、各種競技・各年代に合わせた競技技術やトレーニング方法の指導、スポーツ医学を活用した指導など、専門的な知識と指導力を持つ指導者の育成・確保が必要である。	評価検証委員会の評価			<input checked="" type="checkbox"/> 課題・問題点が妥当である <input type="checkbox"/> 課題・問題点が妥当でない	
		評価検証委員会の評価			<input checked="" type="checkbox"/> 改善策が妥当である <input type="checkbox"/> 改善策が妥当でない	
課題・問題点に対する改善策 (ACTION)	各競技団体や福島県体育協会などと連携し、スポーツ指導者研修会や指導者養成講習会への参加促進を図り、スポーツ医学も含め専門的な知識と指導力を持つ指導者を育成し、資質の高い優れた指導者の確保と活用に努め、競技スポーツの振興と競技力の向上を目指す。					
事業の方向性	評価検証委員会の評価	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
	評価検証委員会の判断理由	専門的な知識の習得などで指導者のレベルアップを図る上で効果的であり「継続」とする。				

<p>評価検証委員の意見・助言</p>	<p>①各種競技団体や体育協会等と連携し、質の高い講習会であることをさらにアピールしたい。メンタル面の指導やサポート方策、運営マネジメントなど総合的なトレーニングについて学ぶ場として期待したい。福島市の強みでもある関係大学、専門機関との連携もこれまで以上に緊密にしたい。</p> <p>②ハラスメント抑止、勝利至上主義への批判もあり、このような観点からの研修も必須である。</p> <p>③本市の様々な競技の強化を考えるならば、より質の高い講習会を開催すべきである。</p>				
<p>教育委員会の評価</p>	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終 了
<p>教育委員会の判断理由</p>	<p>今後も各種競技・各年代に合わせた競技技術やトレーニング方法、メンタル面の指導など、専門的な知識と指導力を持つ指導者の育成・確保が必要であることから継続していく。</p>				
<p>評価検証委員の意見・助言に対する教育委員会の検討結果</p>	<p>①多くの指導者が質の高い講習を受講していただくため各団体を通じて広く参加を呼びかけるとともに、各競技団体や体育協会等と連携し協力のみならず大学との連携も検討していく。</p> <p>②競技力向上のための研修だけでなく、指導者の資質面の講習についても実施していく。</p> <p>③各競技団体や体育協会等と連携し、レベルの高い講習会の開催や指導者の派遣を促進しながら、より専門的な知識と指導力を持つ指導者の育成と競技力向上の取り組みを継続していく。</p>				

◆施策の体系

③スポーツ施設の整備充実と効率的活用の促進

主要事業名	体育施設管理運営事業																				
概要 (PLAN)	<p>指定管理者の能力を活用し、地域住民等に対する体育施設のサービス提供の効果効率を向上させ、もって施設の一層の利用の推進を図るとともに、生涯スポーツを推進するため、体育施設（指定管理者制度導入施設：25施設等）の管理運営を行う。</p> <p>また、学校体育施設を開放し、地域住民等がいつでも気軽にスポーツ活動に親しむことのできる環境を提供する。</p>																				
取り組み内容 と成果 (DO)	<p>老朽施設の改修や施設の整備充実を図りながら、市民がいつでも楽しく安全にスポーツ活動に親しむことができる施設の管理運営を行っている。</p> <p>また、体育施設オンラインシステムの構築により施設申込み等を簡素化したことに加え、市民ニーズの把握に努め、スポーツ教室等の内容を年度ごとに見直しを行っている。</p> <p>◎体育施設利用者数（学校体育施設を含む）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>体育施設の利用者数</th> <th>学校施設開放事業の利用者数</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>1,467,943人</td> <td>860,568人</td> <td>2,328,511人</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>1,436,017人</td> <td>892,156人</td> <td>2,328,173人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>1,412,160人</td> <td>873,096人</td> <td>2,285,256人</td> </tr> </tbody> </table>					年 度	体育施設の利用者数	学校施設開放事業の利用者数	合 計	平成27年度	1,467,943人	860,568人	2,328,511人	平成28年度	1,436,017人	892,156人	2,328,173人	平成29年度	1,412,160人	873,096人	2,285,256人
年 度	体育施設の利用者数	学校施設開放事業の利用者数	合 計																		
平成27年度	1,467,943人	860,568人	2,328,511人																		
平成28年度	1,436,017人	892,156人	2,328,173人																		
平成29年度	1,412,160人	873,096人	2,285,256人																		
達成度	指 標 名	体育施設・学校施設の利用者数																			
	目 標 値 (目 標)	2,900,000 人																			
	実 績 値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度																
		2,328,173 人	2,285,256 人																		
決 算 額	327,140 千円	333,722 千円																			
評 価 (CHECK)	評 価 の 視 点	判 断 の 基 準			判 断 し た 理 由																
	必 要 性	施策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> A：整合・貢献している <input type="checkbox"/> B：改善・見直しの余地がある		市民の誰もが生涯にわたり、楽しく、安全にスポーツに親しむことが出来る環境づくりのため実施する必要性が高い。																
		市の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> A：妥当・義務的な事業 <input type="checkbox"/> B：改善・見直しの余地がある																		
		緊 急 性	<input checked="" type="checkbox"/> A：緊急性が高い／優先して実施する必要がある <input type="checkbox"/> B：現時点では必ずしも実施しなくてよい																		
	効 率 性	費 用 対 効 果	<input checked="" type="checkbox"/> A：費用に見合う成果がある <input type="checkbox"/> B：改善・見直しの余地がある		施設利用者の利便性・サービス向上を図りながら、経費節減に努めた施設の効率的管理運営を行っており、十分に効率的である。																
		受 益 者 負 担	<input checked="" type="checkbox"/> A：妥当である <input type="checkbox"/> ：受益者負担なし <input type="checkbox"/> B：改善・見直しの余地がある																		
		対 象 の 妥 当 性	<input checked="" type="checkbox"/> A：妥当である <input type="checkbox"/> B：改善・見直しの余地がある																		
有 効 性	社 会 環 境 の 変 化	<input checked="" type="checkbox"/> A：社会環境の変化に適切している <input type="checkbox"/> B：改善・見直しの余地がある		市民の健康増進、体力向上に対するニーズが多様化している中、施設の有効活用を図り、市民の運動機会の提供に努めている。																	
	類 似 事 業 と の 関 係	<input checked="" type="checkbox"/> A：類似事業はない／あるが統合・連携はできない <input type="checkbox"/> B：類似の事業があり統合・連携できる																			
	廃 止 ・ 休 止 の 影 響	<input checked="" type="checkbox"/> A：影響がある <input type="checkbox"/> B：影響がない																			
前年度評価を受けて29年度に取り組んだ事項	<p>福島体育館・武道館の再整備など老朽施設の改修、整備に積極的に取り組んだほか、学校体育施設を開放し、地域住民等に対して体育施設利用の便宜を図り、子どもから高齢者まで、市民がいつでも気軽に、そして安全にスポーツ活動に親しむことが出来る環境整備の推進に努めた。</p>																				
課題・問題点	東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿やスポーツのまちづくり推進のため、老朽施設の改修、整備が急務となっている。	評価検証委員会の評価																			
		<input checked="" type="checkbox"/> 課題・問題点が妥当である <input type="checkbox"/> 課題・問題点が妥当でない																			
課題・問題点に対する改善策 (ACTION)	今年10月にオープン予定の福島体育館・武道館の再整備や十六沼公園に新たに天然芝サッカー場整備など老朽施設の改修、新規施設の整備を積極的に取り組み、合宿誘致に向けた受け皿づくりやスポーツのまちづくり推進のための環境整備を進めていく。	評価検証委員会の評価																			
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善策が妥当である <input type="checkbox"/> 改善策が妥当でない																			



事業の方向性	評価検証委員会の評価	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終 了
	評価検証委員会の判断理由	競技・生涯スポーツ振興の観点からも体育施設の安定した運営や学校施設の開放は有意義な事業であり「継続」とする。				
	評価検証委員の意見・助言	<p>①東京オリンピック・パラリンピックが目前に迫っていることもあり、早急な対策を講じていただきたい。</p> <p>②新体育館など新たな施設の拡充が図られているが、オリンピック関係の事前合宿誘致などで市民が活用しづらい実態がでてきている。施設管理とともに活用運営面に市民の理解が得られるようきめ細かな説明責任が必要と思われる。</p> <p>③体育施設のみならず、他の文化施設（県所有施設も含めて）との総合的な整備計画が必要であろう。今後、市公会堂、市立図書館との兼ね合いも協議する必要性を感じる。</p>				
	教育委員会の評価	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終 了
	教育委員会の判断理由	市民がいつでも気軽に、そして安全にスポーツ活動に親しむことができる環境整備を進め生涯スポーツを推進していくことから継続していく。				
評価検証委員の意見・助言に対する教育委員会の検討結果	<p>①東京オリンピック・パラリンピックの合宿誘致等に向けた受け皿づくりやスポーツのまちづくり推進のための環境整備を計画的に進めていく。</p> <p>②スポーツのまちづくりについての周知を進めるとともに合宿誘致等による施設の利用の制限がある場合などは、事前に利用者に周知するなど利用への理解を得られるよう対応していく。</p> <p>③公共施設の総合的な整備計画については、関係部署と協議を行い、本市が進めるまちづくりの具現化のために必要な施設の精選にもとづく整備計画を検討していく。</p>					